

新年のごあいさつ



医療法人共和会
小倉リハビリテーション病院
病院長 梅津祐一



明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策に追われ、通常の新年とは程遠いものとなりました。

旅行や出張だけではなく、近所への外出や会食の自粛を迫られ、非日常の生活様式が日常化しつつあるのではないのでしょうか。

個人的には昨年還暦を迎え、徐々に心身の老化現象も感じられるようになりました。

健康維持に留意した生活を送らなければと考えているところです。

当法人の柱である「地域リハビリテーション」の目的は、一言でいえば「あたりまえのくらしの実現」の支援を行うことだと考えています。

昨年、一昨年は、感染蔓延のため、日常診療やサービス提供体制は大きな制約を受けました。特に、外出自粛のために支援が不足して、介護が必要な方々の体力や生活能力を低下させてしまいました。

本年は感染蔓延前の状況になることを願いつつ、感染対策を優先させながら、質の高いリハビリテーション医療・サービスの提供に創意工夫を凝らしていければと思っています。

地域リハビリテーションを活動の柱とし、「個の尊重」「健康の増進」「生活の創造」を理念とした医療に全力を尽くす所存です。

ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます

